1966
4 月 号
No.149
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

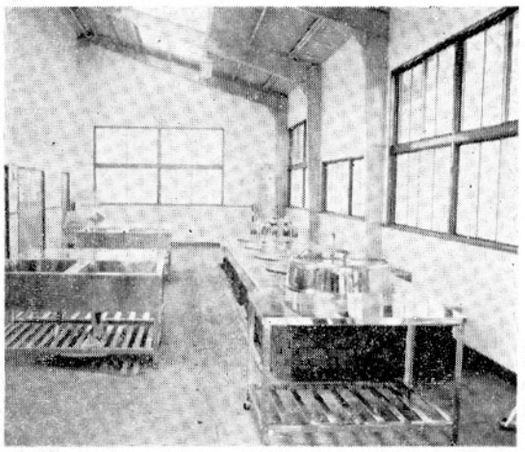
4月の人口と世帯
人口 7.547 (+4)
男 3.738 (+3)
女 3.809 (+1)
世帯数 1234(−1)

学校給食センター運営開始
一千九十二人に完全給食

さきに西野小、西山小で給食が始められ、その他の学校でも完全給食を実施して欲しいとの要望に添い、村では四十年度予算で鮫小東側に敷地を求め学校給食センターの竣工を急いでいたが、このほど完成し二十五日に多数の来賓を招いて落成式を行ないました。

学校給食センターの対象校は鮫小、東野分校、戸草分校、富田小、渡瀬小中、青生野小中の一千九十二人（うち教職員五十九人）で、給食費は粉ミルクで小学生が年間六千円中学生で七千二百円、生ミルクで小学生六千八百四十六円中学生七千九百八十円の予定です。

センター所長は鮫小校長が兼務し、事務職員―藤田一男用務員（運転手）―藤田一夫調理員（給食婦）―田子ツナ佐藤ミツエ、矢吹美智枝、計六名（一名非常勤）の職員が業務にあたります。電話番号は一一三番です。



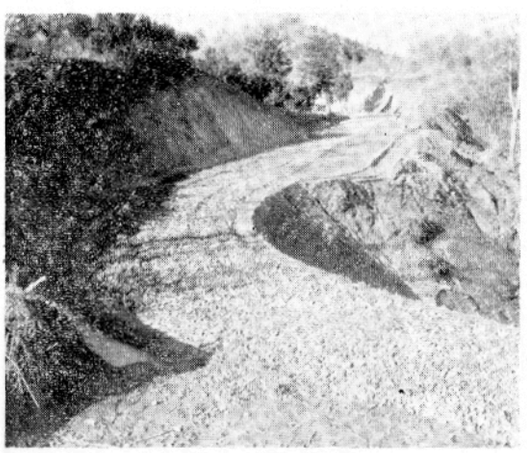
熱心な父兄の皆さんの要望にこたえ、鮫川小学校東隣に、県南では初めての学校給食センター生れ、5月25日落成式が行われました。

なんでも御相談下さい

村では四月二十日より毎月十日、二十日、三十日の午前十時より午後三時まで、村公民館にて「心配ごと相談所」を開設します。

家庭内のことや金銭の問題身体の健康など日常生活で心配ごとがありましたら、自分だけ悩んでいないで気軽に相談して下さい。

相談には民生委員や福祉協議会の役員があたり、相談された内容については秘密を守ります。料金はいつさい不用です。



産業基盤の整備も先づ道路から……と、村の林道網は目ざましく開発の歩を進めています。写真は岩野草から酒垂に向う岩野草線の進行ぶり。

晩霜に注意

今年の天候予想によれば、四月下旬～五月上旬にかけて強い霜のおそれがあります。桑園、水稲苗代には特に注意して下さい。

・夜空が晴れて澄み、星の光がきらめくとき。
・風が弱く空気が乾いているとき。
・日中冷たい風が吹き、しぐれ性の小雨が降り、夕方になつて止み晴れ上つたとき。

このような条件で夕方から気温が急に下り、午後八時～十時頃五度C以下になれば霜を結ぶ公算が大きい。このような場合は移動性高気圧が日本を通過する際におこり、特に福島県の中心を通る場合に霜のおそれがありますので、天気図も参考にして下さい。尚ラジオ、テレビで降霜注意報が随時放送されますから防霜対策に万全を期して下さい。

（産業課）

人事異動

四月一日付

事務吏員　蛭田　栄
総務課長を命ずる
事務吏員　鈴木英亮
総務課総務係長を命ずる
事務吏員　緑川清幸
総務課財政係長を命ずる
事務吏員　高坂幸男
税務課課税係長を命ずる
事務吏員　青戸彦磨
税務課徴収係長を命ずる
事務吏員　矢吹義照
住民課保険係長を命ずる
技術吏員　蛭田三夫
産業課農政係長を命ずる
鮫川村青年研修所勤務を兼ねて命ずる
技術吏員　鷲野谷武志
産業課建設係長を命ずる
住民係長　芳賀文雄
住民課窓口係長を兼ねて命ずる
技術吏員　中井光徳
鮫川村畜産センター所長を命ずる
主事補　大楽和子
総務課総務係勤務を命ずる
小使　藤田正美
総務課総務係勤務を命ずる
主事補　鈴木俊之
総務課財政係勤務を命ずる
運転手　赤坂幸猪
総務課財政係勤務を命ずる
主事　窪木義信
税務課課税係勤務を命ずる
主事　斉藤　実
税務課徴収係勤務を命ずる
主事　鷲野谷満
住民課窓口係勤務を命ずる
主事　赤坂義郎
住民課窓口係勤務を命ずる
主事補　大池清敏
住民課窓口係勤務を命ずる
保健婦　金沢寿枝
住民課保険係勤務を命ずる
主事補　鈴木三千男
住民課保険係勤務を命ずる
技師　関根武捷
産業課農政係勤務を命ずる
主事補　鈴木重隆
産業課農政係勤務命をずる
運転手　関根義栄
産業課建設係勤務を命ずる
主事補　森　一一
産業課建設係勤務を命ずる
主事　添田剛弘

新任の校長先生

富田小の渡辺喜好校長が郡山市白岩小学校長に、青生野小の大森重正校長が郡内の高城小学校長に転出された、後任として次の方々が新しく赴任されました。



富田小　管野時男（45）
昭和十五年　福島師範卒
前任校　伊達郡川俣町小学校



青生野小中　安部雅人（50）
昭和十九年福島師範研究科卒
前任校　棚倉町社川中学校

鮫川村国民健康保険診療所勤務を命ずる
青戸学男
主事補を命ずる
鮫川村畜産センター勤務を命ずる
窪木美義
主事補を命ずる
（鮫川村教育委員会）
藤田一男
主事補を命ずる
（鮫川村教育委員会）
関根彦孝
書記補を命ずる
（鮫川村選挙管理委員会委員長）
総務課総務係勤務を兼ねて命ずる

楽しかつた農業学園

渡瀬　藤田二三夫

私は、県立郡山農業試験場で行なわれた農業学園専修科第一期生として入学し、三週間の集合研修を修了し、自宅研修に励んでおります。集合研修は十二月に開かれましたが私にとつては、初めての共同生活でした。朝六時半に起床し、ラジオ体操のあとの朝食は皆も待ちどおしいようでした。

八時半から午前中は講義、午後は一時から四時四十分まで講義の明け暮れでした。いつも仕事をしている自分達にとつては苦しい講義でしたが良い先生方の御指導のため、身にしみる勉強でした。

最初の集合研修の時は顔も知らない、名前も知らない人ばかりで淋しく、いやになる様な毎日でしたが、名前も知り顔も知つて共同生活になれてきたころは、地方の話題に花がさき、夜のふけるのもわからず話し合いました。村内にいて学べないことも学べ、大きい収穫がありました。県内に農業という職業を理解して従事している仲間がいることを思い、友ができたことを心から嬉しく思います。

講座内容は基礎的な勉強でしたが、これも血、あるいは肉となつて役立つでしょう。

これからも鮫川村農家の後継者の一員として、農業近代化のための勉強をしたいと思いますので村民の皆さんの良き御指導のほどをお願いします。

農協の新役員

四月十六日の理事会で次のとおり互選されました。カッコ内は担当部門です。

理事…組合長　矢吹清敏、副組合長　藤田秀男（管理）吉田稔（管理）、前田栄美（管理）、大竹茂（営農）、鈴木市夫（営農）、松本栄一（営農）、鈴木喜一（経済）、蛭田一（経済）、土手内万吉（経済）、石井半次（金融）関根信政（金融）、松本啓（金融）

監事…代表　緑川操、阿久津光翁、近藤保、吉田義一、遠藤慎一郎

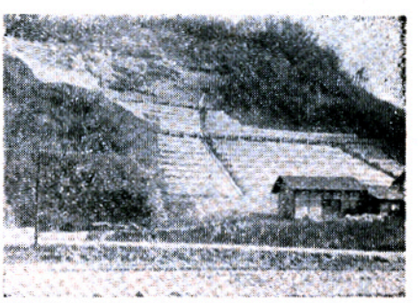
なお村農業委員に鈴木喜一郡養蚕連理事に関根信政、同監事に前田栄美の各氏を推薦しました。

★ 4月の納税 ★

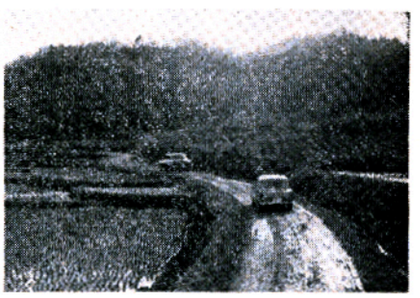
保険税第1期分と軽自動車税全期分です

納期限は **4月25日** です

今年度分より納税将励金交付の規定が変りました。全組員納期内完納…納付額の5％。全組員12月25日までに完納…納付額の3％。そして12月25日までに完納しない組員があると、全組員が奨励金を受けることができなくなります。



数回にわたり山崩れがあつて危険だつた広畑地内の長久保久義さんの前山が、県の治山工事として二百六十四万円の事業費で、塙町の山本組が請負い工事を進めていたが、このほど写真のように立派に完成しました。この工事にはロンタイ（芝草播種）が使用されています。



関口線林道完成

泥んこの山道で不便をかこつていた渡瀬の田尻～関口間に三十六年から四十年までの五ヶ年計画で林道が開発されていたが、このほど延長二六六三米、巾員三・六米の写真のような立派な道路が開通しました。工事費は三百四十八万円（県百七十四万円、村百十六万二千円、地元五十七万八千円）で、塙町の明光建設が請負完成したものです。



こんにやく団地生れる

西山馬場こんにやく生産組合（組合長円井彦兵衛）では県のこんにやく団地造成事業の指定を受け事業を進めていましたが、このほど次の施設が完成しました。

総事業費九十七万円、県補助金三十万円、電熱貯蔵庫三棟、予備乾燥所三棟、貯蔵箱一、二五〇箱、農道二百米、動力噴霧機一台、農薬調合槽二基。（写真）

科学的な消防を

団長　円井彦兵衛

幹部教養生（団長科）として県消防学校に二月九日より四日間入校しました。

この講習は、幹部としての識見を高め、団員の統率と、組織の確立をはかる指導能力を身につけることで、最近の火災状況からみて、科学消防が要望されているため、消防能力を高める必要から行なわれたものです。

講習のなかから皆さん方に知つて頂きたいことをお知らせします。先ず火災になる原理ですが、一定の温度（四五〇度以上又は発火点以上の熱）と空気の供給、燃える材料の三つが一致したときに起ります。このうちの一つが欠けても火災にはなりませんので日ごろから予防に注意したいものです。

消防戦術としては、拙速戦術（下手でも速く）遅巧戦術（おそくとも上手に）巧速戦術（上手に速く）の三つがあるが、もつとも大切なことは火災現場を確認し、水利や気象条件などをみて、戦術をたてることです。防禦にあたつては、人命を最優先することを忘れてはなりません。

その他に専門的な講習がありましたが、省略します。

財界のみる明日の農業

村長　石田卯子八

日本農業の未来像について農業の内部にある学者や団体や機関に属する人たちの意見はしばしばきくところですが、最近は財界からの提言がよくきかれるようになりました。

これは産業界の均衡発展を目ざす関心のあらわれとも見られ、十分参照すべきものと思います。

経済同友会や、産業計画会議などの見るところでは今から十五年後には、農家戸数は半数から三分の一に減ると見ており、一戸当り経営面積は現在の二倍余二・三ヘクタールに増加するとしております。

国民所得も伸びて、食生活はイタリヤ位の水準になり、澱粉食が六四％から四五％に減り、動物蛋白の取り方は三倍から四倍のカロリー量になるといいます。

自立経営農業では、所得が一戸当り一一〇万から二〇〇万になり、都市勤労者の二～三割高を想定しています。

ところでこのようなビジョンは、農業の分野にもなかつたわけではなく、農業基本法の成立過程で既に検討された問題です。

ただ財界からこういわれてみると現実とのくい違いに抵抗を感じるものがあります。

その中で食糧農産物の自給度のことをいつていますが、日本の米作について「安ければ輸入する」という考えには同意できません。

日本の米作は単位面積当りのカロリー生産では他に比類がなく、これを畜産にかえてカロリー生産を十分の一にする愚かさはさけるべきでしょう。

動物蛋白の需要が三・四倍になるといつても、畜産の拡大は気の短かい増殖には適しないし、飼料基盤の草と併行しない限り経営が成り立つものではありません。

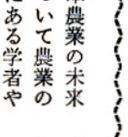
農家戸数の減少率も、現実からは遠く、農業者のものの考え方、地域社会の構造、生活環境から検討してみると、企業的農業経営が一朝一夕にできるものでないことがわかります。

しかし日本農業の未来像として、その方向だけはまちがつていないと思います。

それを裏づける内部的な条件、構造政策、畜産振興、企業経営などの強力な施策がこれに伴わないうらみを感じます。

計画を書くことはやさしいが、実行はむづかしく、効果をあげることは更に困難です。

村をとりまく内外の諸条件をよく見究め、更に適確な施策を考えていきたいものです。



おらの村のみ ㉝

日本農業の未来像について農業の内部にある学者や団体や機関に属する人たちの意見はしばしばきくところですが、最近は財界からの提言がよくきかれるようになりました。

これは産業界の均衡発展を目ざす関心のあらわれとも見られ、十分参照すべきものと思います。

経済同友会や、産業計画会議などの見るところでは今から十五年後には、農家戸数は半数から三分の一に減ると見ており、一戸当り経営面積は現在の二倍余二・三ヘクタールに増加するとしております。

国民所得も伸びて、食生活はイタリヤ位の水準になり、澱粉食が六四％から四五％に減り、動物蛋白の取り方は三倍から四倍のカロリー量になるといいます。

自立経営農業では、所得が一戸当り一一〇万から二〇〇万になり、都市勤労者の二～三割高を想定しています。

ところでこのようなビジョンは、農業の分野にもなかつたわけではなく、農業基本法の成立過程で既に検討された問題です。

ただ財界からこういわれてみると現実とのくい違いに抵抗を感じるものがあります。

その中で食糧農産物の自給度のことをいつていますが、日本の米作について「安ければ輸入する」という考えには同意できません。

日本の米作は単位面積当りのカロリー生産では他に比類がなく、これを畜産にかえてカロリー生産を十分の一にする愚かさはさけるべきでしょう。

動物蛋白の需要が三・四倍になるといつても、畜産の拡大は気の短かい増殖には適しないし、飼料基盤の草と併行しない限り経営が成り立つものではありません。

農家戸数の減少率も、現実からは遠く、農業者のものの考え方、地域社会の構造、生活環境から検討してみると、企業的農業経営が一朝一夕にできるものでないことがわかります。

しかし日本農業の未来像として、その方向だけはまちがつていないと思います。

それを裏づける内部的な条件、構造政策、畜産振興、企業経営などの強力な施策がこれに伴わないうらみを感じます。

計画を書くことはやさしいが、実行はむづかしく、効果をあげることは更に困難です。

村をとりまく内外の諸条件をよく見究め、更に適確な施策を考えていきたいものです。

議会だより

第五回鮫川村議会臨時会

去る三月二十六日に第五回議会臨時会が招集されました。三月中には第三回臨時会、第四回定例会が招集され、第五回の臨時会で一ヶ月間に三回も議会が招集されたので、従つて議案も昭和四十年度一般会計予算の最終補正の一件にとどまりました。その結果は次のとおりです。

(1)会期　一日間

(2)報告事項

イ　例月出納検査結果報告

(3)議案第二十七号　昭和四十年度鮫川村一般会計補正予算。

このたびの補正は主として財政調整及び基本財産基金えの積立の増額、それに庁用自動車の購入費の補正、県単改良工事負担金の減額補正等でありました。庁用自動車（公用車）の購入については、議員協議会や議会の本会議において再三にわたり現在の公用車は古く耐用限度にきているので、修理費の節約を図るためにも他町村なみに、新車を買うべきであるとの多数意見が出ていたが、本村の財政事情に即して、中古車を購入するための予算措置がとられたわけです。（三月三十日購入済）。今回の最終補正で昭和四十年度一般会計の総予算額は一億二千八百五拾四万壱千円となりました。

（議会事務局）

41年度監査（検査）実施要領

鮫川村監査委員は、昭和四十一年度において、地方自治法第一九九条第三項、第四項第二三三条第一項第二号、第二三五条の二及びその他の規定するところにより、次のとおり監査検査を実施するものとする。

記

監査（検査）の種別及び実施時期

(1)例月出納検査　一二回、有月一〇日（但し、その日が日曜、祭日にあたるときはその翌日とする）

(2)定期監査　一回（四日間）

一月

(3)臨時監査　二回（三日間）

学校関係四校、十二月

補助団体一、三月

(4)決算審査、二回（三日間）

一般会計関係　九月

特別会計関係　六月

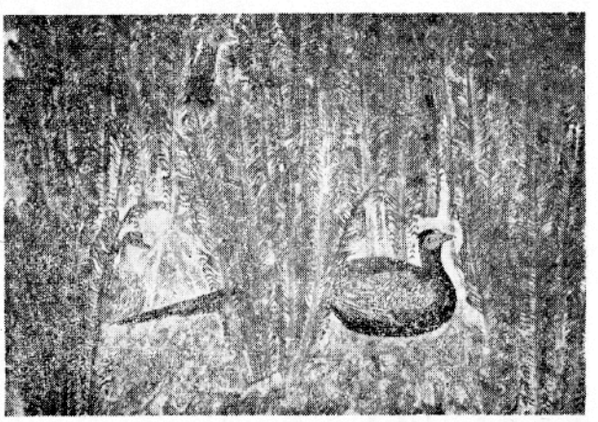
(5)その他、法令の定めにより監査の要求又は請求による事件の監査。

附記

(1)上記監査の実施時期又は期日は変更することができる。

(2)その他監査の実施について必要なことは別に定める。

昭和四十一年度の監査については以上の要領により実施することに決まりました。



「浅　春」　郷土が生んだ鈴木画伯は東京都の銀座松屋で開かれた日展の春季展と言われる日春展に出品し、多数の作品のなかから選ばれて奨励賞に入りました。これも近年ますます円熟味を増してきた画伯の精進が実つたもので、秋に本村で開く「百景の会」にいちだんと精彩を加える朗報です。

（ね）（ん）（き）（ん）

国民年金保険料は、手帳に印紙を貼つて納付することになつていますが、今年は国民年金手帳が更新されるので、村ではこの機会に村税と同じ納付書（キツプ）を発行することにしました。この方法は納税と同じく四期分の通知書にして納期のつど、金融機関（農協）へ納付することになります。村ではその納付書により皆さんの国民年金手帳に印紙を貼り検認して保管します。五ヶ年を経過すると手帳は本人にお返しします。

納　期

第一期　四月二十五日

第二期　七月二十五日

第三期　十月二十五日

第四期　一月二十五日

◎保険料の改正

最近の国民生活の水準は著しい向上を見せております。これに即応して年金制度の内容を充実するため、拠出年金の額を引き上げ、各種の支給要件を緩和するとともに福祉年金の額の引き上げなど年金制度全般にわたる改善が行なわれました。改正の主な事項は次のとおりです。

1保険料の引き上げ

四十二年一月から三十五才以上月額二五〇円、三十五才未満月額二〇〇円にそれぞれ一〇〇円増額になりました。

2支給される年金額

保険料納付済期間一年につき二、四〇〇円として（免除期間は一年につき八〇〇円）二十五年納付したものは、現在の月額二、〇〇〇円を月額五、〇〇〇円（夫婦で一万円）となります。又四十年納付した者は現在月額三、五〇〇円を月額八、〇〇〇円（夫婦で月一万六千円）になります。

その他母子年金、障害年金も最低月額五、〇〇〇円になり、障害年金も障害の範囲を拡大し内部疾患による障害を含まれました。

年金は老後の幸わせを積むものですからわすれず期間内に完納しましょう。

国立磐梯青年の家で

西野矢吹　静

二十二日より三日間、新装なつた国立磐梯青年の家に、木村知事が出席して県下青年学級生大会が施設利用の第一号として、各市町村代表百九十六人が参加して開かれました。参加者はほとんど20才前の人達でした。大会の日程一日目は開会式と、学習体験発表があり二日目は部会研究とブロック対抗スポーツ大会（卓球）と雪の芸術祭がありました。夜はキヤンドル、サービスを行ない、お互いの友情を深め合い三日目は全体討議と閉会式が行なわれました。部会研究では青年学級生が直面している数々の問題がたくさんだされ、特に「仲間作りをどうしたら良いか」について活発な意見が交換されました。全体会議では「年令に幅のある青年学級活動」と「学級生確保の為の仲間作り」について討議しました。

青年の家は、猪苗代駅から三キロ、標高六百メートルの台地にあり、後に磐梯山、前に猪苗代湖を望み、ちよう望環境に恵まれ、登山、キヤンプ、サイクリング、水泳など四季を通じ健康で理想的な「青年研修の場」として利用できます。

私が青年学級生大会に参加して感じた事は自分があまりにも勉強不足であつたことでした。これからは自分の視野を広め、仲間づくりをとおし青年学級の振興をはかり、若い人に喜ばれ、嫁不足などのない農村を築きあげたいと思います。

新鮫川風土記 ⑦

釣天狗

中井恒雄



鮫川の川魚といつたら「やまめ」「かじつか」が主だから釣天狗たちには貴重な魚といえる。やまべ釣は春三月頃から盛期になり、十月頃までが釣期である。晩秋から初冬でもつれないことはないが、その数はかぎられる。

やまべ釣のエサだが、これには柳虫、ぶどう虫などその人によつて当りはずれがある。やはり現地で採補する人が多い。川虫、地虫（クモ、イナゴ）なども場所によつてはおもしろいエサとなる。川虫のことを鮫川では「ガムシ」などと発音しているのはおもしろい。やまべにしたつて本当はやまめという。かん字にすれば山女だろう。職漁者や欲の深い釣人なら別だが、一日十尾も釣れたら上成績で満足する。釣期だが、早朝はどんなエサでもよく追うものであるが日中になるとむずかしい。

よくエサが悪くて釣れなかつたという人がいるが、これは単なるべんかいだろう。やまべはそれほどエサを選んでたべる魚ではないとされている。よく夏に網で保獲した腹をさいてみると、大きな毛虫をのんでいることがよくある。昆虫類ならどれでも釣れるといえる。

釣天狗たちだが、やまべを二十尾から三十尾も篠竹にさして、パイプを口にくわぎ、長ぐつをはいて、小さな背おいかごで清流をにらんでいる人がいる。この人をぞくに土地の人は〝バットヤ〟と呼んでいる。そう、その名前通りいつもバットタバコを口にくわぎ、タバコの煙の出てない時でも、かならずパイプだけはくわいている。それほどまでにタバコが好きなのだ。だから〝バットヤさん〟なのである。この人の釣は職人並だ。この人の本職は、コーモリ修理、部落から部落へ。この人の右に出る者はない。背負つている小さなカゴには、コーモリ修理道具と釣道具が入つているのだろう。この人を思い出さずにはいられない。

告知版

分団長かわる

消防団の分団長さん方でかわったところがありますのでお知らせします。

高野一己（西山）、芳賀喜一（東石）、小松一郎（渡瀬）、岡部文雄（青生野）

県知事より表彰旗

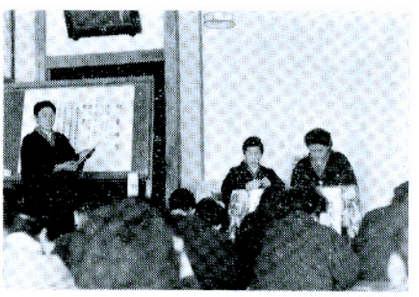
四月十五日に磐城市市民会館で開かれた県下消防団長大会の席上で、村消防団が消防施設優秀のため表彰旗を授与され、精績章は日本消防協会より円井彦兵衛氏に、知事表彰の精勤章は同じく円井氏に永年勤続章が第一分団の鈴木市治、緑川利清の各氏に授与されました。

会長に阿久津さん

村婦人会では三月三十一日に公民館で第十四回総会を開き、次の役員を選びました。

会長…阿久津ハル、副会長…近藤シゲ、佐藤ヤス　監事…藤田ミヨ、赤坂ヨシ子　分会長…星静子（西野）、関根ツル（西山）、鈴木キチ（中野）、宗田キン（東野）、国島クラ（富田）、芳賀ヤイ（渡瀬）、石塚ハル（青生野）

写真は総会風景



「うちかけ」を備える

村婦人会では花嫁衣裳、喪服、モーニングを揃えて貸出していますが、結婚式が豪華になるにつれ「うちかけ」を備えて欲しいとの要望があったので、このほど備付け一回六千円で貸出すことになりました。利用者の第一号は村教育委員会に勤務している船木久子さんでした。

なおながいあいだ管理人として衣裳の管理にあたってきた江面ハルさんは、家事上の都合で辞任され後任に同じ大字中野字新宿の鈴木アサさん（英男さん宅）が管理することになりましたので、これからの利用者は鈴木さん宅に申し込んで下さい。

学校だより

◎西野小学校の新入学生全員に緑川操さんがノートと鉛筆を、入学式に贈られました。

◎西山老人クラブ（会長、本郷輝弥）では、このほど西山小学校に会員（松本定次）の手作りの竹ホーキ三十本を寄附されました。

◎家庭訪問を実施した西野小の父兄の要望

①ちつともしやべらないがどうするか。

②家の子は無理に勉強させないから宿題はいらんです。

③宿題はみつちりだして欲しい。

中卒者の進路

村内の各中学校を卒業した中学生の進学及び就職者、家事従事者は次のとおりです。

学校名	卒業生数	進学者数	就職者数 県外	県内	家事従事者	計
	人	人	人	人	人	人
鮫中	178	84	63	20	11	94
渡瀬中	37	12	19	2	4	25
青生野中	34	7	15	7	5	27
計	249	103	97	29	20	146

人たずね

昭和二十年九月二十日広島県福山市に復員した、本村出身の戦友の方をたづねております。

終戦後一、二度手紙をいただいたことがありますが名簿を紛失し住所氏名を記憶してないそうです。

終戦当時の部隊名　暁第六一七八部隊　岩見部隊

船舶砲兵　陸軍曹　岩田　一男

右に心当りの方は役場住民課にお知らせください。



鮫川郵便局提供

◆逓信記念日と郵便週間

桜花匂う四月は新入学期から、年度始めと、あわただしいなかにも、躍動に満ち溢れる頃と云いましょう。

この四月二十日は、郵便局でも逓信記念日と云う、有意義な日になつております。

いまから九十五年前の明治四年、東京―大阪間に現在行われている、新式の郵便制度がはじめて実施された日です。

郵政省では、この日を「逓信記念日」とするとともに、二十日から一週間を「郵便週間」と定めて、いろいろな行事を行なつています。

切手趣味週間や、ポストを大切にする週間などが、それです。

とくに「迷い子郵便をなくす運動」「郵便外務員に対する理解と協力を求める運動」などに重点を注いでおります。

迷い子郵便をなくすためにも「**あて名は正しく書きましよう**」に御協力下さい。

☆　☆

◆小包郵便の料金が改正になりました

四月一日から小包郵便の料金が改正になり従来の料金より、三十円程高くなりました。又新しく「書籍小包」の制度が出来ました。

これは一般の小包料金より安い料金で左記の様なものが条件とされております。

記

○書籍だけで、あることが、すぐ分るように開封にして下さい。

○書籍は冊子としたもので一冊又は一部に限ります。

○重量は二キログラム以内です。

◆郵便振替の料金がずつと安くなりました

四月一日から郵便振替についての諸料金が改正され一部は無料、あるいは値下げと、云うことで利用され易くなりました。

御手近かな振替払込料金などに例をとりますと、五〇〇円送金するのに、今までは三十五円の料金が二十円になると云うことで、一段と安くなつたわけです。

なおくわしいことは郵便局でお尋ね下さい。

★　★

おめでた

三月

下　菊地　次男　父末次

越虫野内　広　〃喜一

擢合　芳賀はつえ　〃正志

おくやみ

三月

馬生田　鏑木新之助82　長一

大塩　水野　雅彦2　芳光

大戸中　緑川　倉次81　高之

楢久保　白坂　郡治76　クニ

四月

大石草　鈴木　ハル78　喜一

大塩　鈴木　チヨ54　光恵

落合　水越　義恭　〃直一

中野町　赤坂　知代　父基

青生野　石井　重幸　〃重春

前田　前田　丙午　〃初

中沢　石井　栄伸　〃栄

おとし物

役場の会議室に万年筆が落ちておりました。

これは三月十日又は十四日の議会を傍聴された方のうちに落された方がおると思われます。お気付きの方は議会事務局に御連絡下さい。

（議会事務局）

会議の中の人と人、自分と人

毎年のことながら、三月末四月となると総会やら、委員会やらがやたらにつづくが、その中から、自分の在り方をふりかえつてみるのも悪くない、さて、私は次のどの型か？。

①慣習型…前年度ああだつたから、まあ今年も無理しまい…進歩少なし。

②無言型…余計なことは言うまい、沈黙は金である。…開発少なし。

③苦言型…一言苦言を申さずにはいられない…時と場合で薬。

④理論型…組合的理論の芥芥とする型…実行の見通しあれば満点。

⑤同情型…主催者、会長の立場は大変だろう―これにのみ流されることなく。

その他、一言型もいて、何か一言言わなくては気の進まぬ型、破壊型があつて感情的に対立してこわそうとする型などもある。いろいろあつてよいと思う。忘れてならないことは、その会を発展する前むきの姿勢になつて、いつ、どこで、どれだけの発言をすればよいかを考えて発言することである。ことば一つ、一つに人格が反映し、人間味が出ていくこと、それによつてお互に評価されていることを知らねばならぬのではなかろうか。

西野小学校　古川　一郎

あとがき

春きたりなば夏　秋、冬がくるのは自然のことではあるが、この条件さえも変える可能性をもつてきた人間社会の科学の進歩は恐ろしいものがあります。可能性を人間破滅の手段に使わず発展のために使つて欲しいものです。不安と希望の交錯する昨今に平和を念願せずにいられません。